

NORIYUKI SAWA Presents

OHOTSUK

[フィギュアアート×能舞台]

オホーツク

— 終わりの楽園 —

作・出演／沢則行

2015

3.14 [土] | 15 [日]

①14:00開演 ②18:30開演 | 14:00開演

※開場は開演の30分前

札幌市教育文化会館
大ホール（能舞台）

全席自由 3,000円

（教文ホールメイト・KitaraClub会員 2,500円）

出演 沢則行
さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座 ほか

主催 札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

共催 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

協力 オホーツク観光連盟
宇田川洋（東京大学名誉教授）
（株）札幌映像プロダクション

後援 札幌市 札幌市教育委員会

OKHOTSK

オホーツク—終わりの樂園—

作・出演 沢 則行

2015

3.14 [土] ①14:00開演 ②18:30開演

15 [日] 14:00開演
※開場は開演の30分前

札幌市教育文化会館 大ホール
(能舞台)

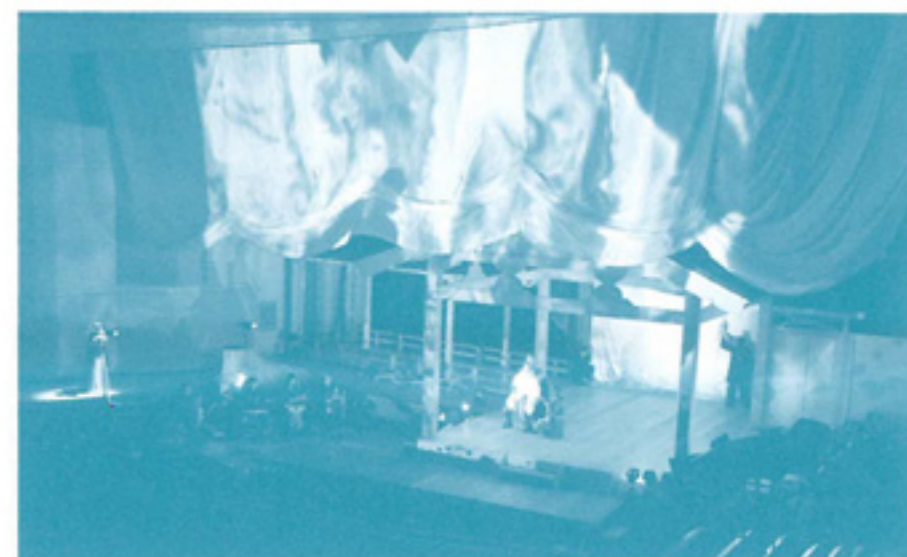
遠い昔、彼らは北の海を渡り、ようよう大きな島にたどり着いた。たくみに銚(もり)をあやつり、海獣を仕留める。森ではヒグマを狩り、ワインを醸造し、美しく自由な彫刻を削り出す。そして仲間が死ぬとその身体を折り曲げ、なぜか頭に大きな壺を載せて葬った。とても豪胆、なんだか繊細。

島の海岸線で比類のない文明を築いた彼らは、やがてどこかへ忽然と姿を消し、樂園は唐突に終わりを告げる。…それから千五百年。今、残された滅びの骨がゆらゆらと蘇る。「今」に迷うあなたに、もう一度新しい航路を示すために。

KIRIE ART by Erina Kurokawa

小樽出身、札幌育ち、チェコを拠点に活躍する人形劇作家 沢則行が、5～12世紀頃に存在したといわれるオホーツク人をテーマに、独特の感性と描写で創る書き下ろし作品。

人形と一緒に人形遣いも舞台上で演じる「フィギュアアート」を能舞台上で上演し、好評を博した初演から2年。新たな演出により、再び蘇る「伝説」をどうぞお楽しみに!



料 金

全席自由 3,000円 (教文ホールメイト・KitaraClub会員 2,500円)
2014年12月16日(火)発売開始 ※割引チケットは教文プレイガイドのみの取扱

チケット取扱

教文プレイガイド…………… 011-271-3355
大丸藤井プレイガイド(南1西3)…………… 011-221-3900
チケットぴあ…………… 0570-02-9999 [Pコード:440-326]
ローソンチケット…………… 0570-000-777 [Lコード:12160]

※未就学児の入場はご遠慮ください。車椅子ご利用のお客様は前日までに教文プレイガイドまでご連絡ください。

札幌市教育文化会館 | 〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目

お問合せ 札幌市教育文化会館 事業課(第2・4月曜休) TEL 011-271-5822 <http://www.kyobun.org/>

地下鉄 東西線「西11丁目」駅 1番出口から徒歩5分 市電 「西15丁目」から徒歩10分

アクセス

JRバス JR札幌駅バスターミナルから、中央バス(円山経由小樽行)または
中央バス JR北海道バス(小樽行、手稲営業所、手稲鉾山行)に乗り、「北1条西12丁目」下車徒歩1分

※当会館にはお客様用の駐車場がございません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

